

令和5年度 学校経営計画書

学校番号	52	学校名	静岡県立金谷高等学校	校長名	山田正訓
------	----	-----	------------	-----	------

1 目指す学校像

- ・落ち着いた学習環境の下、生徒が明確な目標を持ち、自らの成長を感じながら生き生きと生活できる学校
- ・様々な悩みや不安を抱える生徒に対して、教師をはじめ多様な人材が支援にあたる学校
- ・家庭、地域、企業等との連携や協働により、地域に貢献し、地域から信頼される学校

(1) 教育目標

ア スクール・ミッション 「地域の未来を担う人材を育てる学校」

- ・郷土の良さを実感しながら地域文化の継承・発展に寄与し、地域社会を支える人材を育成する。
- ・生徒の個性を伸ばさせ、困難や逆境にもしなやかに適応する力（レジリエンス）を育成する。

イ 育てたい生徒像 校訓「たくましく心ゆたかに前進しよう」

「たくましく」

知・徳・体の調和のとれた人格を身に付け、自らの個性や特性を肯定的にとらえ、困難があっても立ち向かう、強い意志を持った生徒

「心ゆたかに」

- ・物質的な豊かさではなく、社会生活をする上での内面的な豊かさ、創造性に富んだ生徒
- ・多様性を尊重し、自他の個性を認め合い、感性豊かでもものの本質を見極められる生徒

「前進しよう」

- ・自分に限界を作らず、主体的に学び、新しいことに挑戦し続ける生徒
- ・自らの意志で社会に奉仕し、地域社会やグローバル社会に貢献できる生徒

ウ 育てたい資質・能力

- ①「基礎学力」 ②「コミュニケーション能力」 ③「自己理解力」
 ④「協調性・社会性・温情性」 ⑤「勤労観・職業観」

(2) 目標具現化の柱 ※（ ）内は対応する上記の資質・能力

- ア 少人数を生かした個別最適な学びの実現を目指し、ICT等を有効に活用して確かな学力の定着を図るとともに、家庭学習の時間を確保し、学習習慣を確立させる。(①)
- イ 学校や社会のルールやマナーを守り、時と場所に応じた挨拶や所作ができる生徒を育成する。(②・④)
- ウ キャリア教育を推進し、大学・地域・企業等との連携を図りながら生徒の進路意識を高め、進路実現のための適切な支援を行う。(②・③・⑤)
- エ 総合的な探究の時間や学校行事、ホームルーム活動、ボランティア活動等を通して、主体性や社会性、思いやりと共生の心を育てる。(③・④・⑤)
- オ 生徒の心身の健康の保持や多様な家庭環境への対応のため、教職員同士が生徒の情報を共有し、外部専門職と連携しながら支援にあたる。(②・③)
- カ 保護者や地域に対して学校の情報を積極的に発信するとともに、生徒が地域の歴史や文化等を知り、郷土の良さを実感できる体験を充実させる。(③・④・⑤)
- キ 危機管理マニュアルの検証等とおして学校の安全対策を向上させ、感染症や自然災害、交通事故から生徒を守り、安心安全な学校づくりを推進する。(②・④)
- ク ふじのくに国際高校の開校準備を全教職員により確実に進めるとともに、中学校、保護者、塾、地域等に対して新たな学校の魅力を積極的に発信し、募集定員を満たす志願者を確保する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	少人数を生かした個別最適な学びの実現を目指し、ICT等を有効に活用して確かな学力の定着を図るとともに、家庭学習の時間を確保し、学習習慣を確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> ●小集団による、個々の生徒に最適化された指導を行う。 ●1人1台パソコンをはじめ、ICT機器を有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●授業評価で「授業がわかる」と答える生徒の割合：80%以上 ●一日平均家庭学習時間：90分 	教務課

様式第1号

イ	<p>学校や社会のルールやマナーを守り、時と場所に応じた挨拶や所作ができる生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者の理解を得ながら正しい身だしなみで学校生活を送る姿勢を身に付けさせる。 ●あらゆる機会を捉えて挨拶や言葉遣い、自転車の乗り方など、基本的なマナーを習得させる。 ●人権に係る指導を定期的に行い、互いに尊重し合い、一人一人が安心して学校生活を送れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣やきちんとした髪型ができていないと答える生徒の割合：80%以上 ●挨拶がきちんとできていると答える生徒の割合：80%以上 ●交通事故発生件数：0件 ●自転車指導件数：0件 	生徒課
ウ	<p>キャリア教育を推進し、大学・地域・企業等との連携を図りながら生徒の進路意識を高め、進路実現のための適切な支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●3年間を見通した体系的な指導体制を充実させる。 ●総合的な探究の時間や外部の支援を有効に活用し、進路意識を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進路意識で「目指す方向がある」と答える生徒の割合：80%以上 ●「学校は進路指導を熱心してくれる」と答える保護者の割合：80%以上 	進路課
エ	<p>総合的な探究の時間や学校行事、ホームルーム活動、ボランティア活動等を通して、主体性や社会性、思いやりと共生の心を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●探究・体験活動や奉仕活動を経験する中で、自己理解力、自己有用感を育み、人間関係を構築する力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分に良い所があると思える生徒：80%以上 ●他人への手助けやボランティア活動を行った生徒：80%以上 	生徒課 学年部
オ	<p>生徒の心身の健康の保持や多様な家庭環境への対応のため、教職員同士が生徒の情報を共有し、外部専門職と連携しながら支援にあたる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒のあらわれをデータベース化し、外部の専門家も交えて情報交換を行う。 ●外部講師を活用し、全生徒に対してコミュニケーションスキルに関する指導を行う。 ●初期対応を重視し、臨機応変にサポート会議を開催する。 ●SC、SSWr等の専門職と連携をとり、行政や医療機関に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「先生方は悩みや相談に応じてくれる」と答える生徒の割合：80%以上 	保健 相談課 学年部
カ	<p>保護者や地域に対して学校の情報を積極的に発信するとともに、生徒が地域の歴史や文化等を知り、郷土の良さを実感できる体験を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「金高通信」の配布、メール配信、アンケート配信による意識調査、ホームページの更新など適切な運用を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「学校は情報を良く提供してくれる」と答える保護者の割合：80%以上 	総務課
キ	<p>危機管理マニュアルの検証等とおして学校の安全対策を向上させ、感染症や自然災害、交通事故から生徒を守り、安心安全な学校づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学習環境の整備と施設設備の管理保全に努め、学校経営計画に基づいた予算の適正編成、執行に努める。 ●働き方改革や業務改善を通して、教職員が生徒と向き合える十分な時間を確保する。 ●教職員の心身の健康保持増進のため、法令順守とワークライフバランス、メンタルヘルス向上のための取組を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の施設設備に対する定期点検の実施 ●経営予算は法令順守、相互チェックにより、適正に執行する。 ●定時退勤日、部活動休業日を設け、休養時間を確保する。 ●健康意識やコンプライアンス意識を高めるため、職員会議に合わせて毎月委員会を開催する。 	事務部 総務課 学校職員衛生委員会 校内コンプライアンス委員会
ク	<p>ふじのくに国際高校の開校準備を全教職員により確実に進めるとともに、中学校、保護者、塾、地域等に対して新たな学校の魅力を積極的に発信し、募集定員を満たす志願者を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒・保護者を対象とする説明会を11月までに5回、中学校教員対象の説明会を1回実施する。また、県教育委員会と連携をとりながら様々なメディアを活用して情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●所管課と連携し、新構想高校の概要や選抜方法等について中学生、保護者、塾、地域に積極的に情報発信をする。 	校内開校準備委員会